2026 年 10 月 31 日（第 1.2 版）

臨床研究に関する情報

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、National Clinical Database-Pediatric Surgery（NCD-P）に登録された手術症例データおよび術者の情報を用いて行います。NCD-P とは、日本小児外科学会が主導し、全国で行われる小児外科手術の情報を集めて分析する仕組みです。国内のほとんどの手術情報が登録されており、日本の小児外科医療が適切に行われているかを確認し、将来の治療の質を向上させるために役立てられています。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和３年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第１号、令和 5 年 3 月 27 日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名]　北海道での小児外科手術患者の移動距離についての検討

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院・病院長　南須原　康行

[研究責任者名・所属] 河原　仁守・北海道大学病院消化器外科 I 小児外科

[既存情報の提供のみを行う機関・提供責任者名・機関の長の氏名]

一般社団法人日本小児外科学会 National Clinical Database-Pediatrics 連絡委員会

渡辺　稔彦・工藤　博典

[研究の目的]

北海道内で小児外科手術を受けられた患者さんの通院・入院に要した移動距離データベースを作成し、道内の小児外科医療の実態を認識・分析することで今後の道内の医療体制の再構築に向けた提案を行うため。

[研究の方法]

〇対象となる患者さん

2020 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までの間に北海道内の医療機関で小児外科疾患に対して手術を受けられ、NCD-P（National Clinical Database-Pediatric Surgery）にデータが登録された患者さん

〇対象となる術者

2020 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までの間に北海道内の医療機関で小児外科疾患に対する手術を実施し、NCD-P（National Clinical Database-Pediatric Surgery）にデータが登録された外科医の方

〇利用する情報

【患者さん】

自宅郵便番号、年齢、診断、術式、併存疾患、手術を実施された施設、術後 30 日以内に発生した合併症の有無

【術者】

術者および助手に登録されている医師の小児外科学会に関する資格（専門医、指導医

の有無）

〇送付方法

上記の情報は、解析のために既存情報の提供のみを行う機関より電子的配信で北海道大学病院へ送付されます。

［研究実施期間］

実施許可日（情報の利用、提供開始：2026年4月頃）～2028年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さん・術者の個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する術者の情報に関しては、個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も術者を特定できる情報は削除して利用いたします。

＊上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。なお、患者さんの情報については誰のものか分からないデータであるため、取り除くことは出来ませんのでご了承ください。

[北海道大学病院の連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北 14 条西 5 丁目
北海道大学病院消化器外科 I 小児外科　　担当医師　荒　桃子
電話　011-706-5927　　FAX　011-717-7515

[既存情報の提供のみを行う機関の連絡先・相談窓口]

住所：　〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13　3F
医療機関名：一般社団法人日本小児外科学会 National Clinical Database-Pediatrics 連絡委員会
担当医師：　渡辺　稔彦
電話：03-5981-6019　　FAX：03-5981-6012